

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		あおい半田					公表日	令和 7 年 12 月 25 日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	4	0	2	・体を使って遊びたい子供たちが多く、近所の公園に行くことを取り入れ出した。 ・現在二階のスペースが使用できないため、晴れの日は公園に出かけて工夫しているが、雨のときは狭い。	・中学生が多い日は狭いと感じることがある。 ・12名以上だと手狭だと思う。 ・小さい子ならいいが、中学生の男子が多いと少し狭く感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	1	0	1	・職員の配置数は現状満たされている。 ・パニックになった子供に個別に対応できるだけの人数がいる。 ・多く配置できている。 ・外出する活動には通常より職員の配置数を増やして対応している。 ・職員の人数が増えて、利用者の様子が多くの職員で見ることができるようになった。 ・適切になるように人数調整している。	・日によって違う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	0	2	・室内は段差もなくバリアフリー化できている。 ・絵カードや写真も貼っている。 ・荷物を置く場所や座る席が分かるよう、名前ラベルや顔写真カードを貼る等の工夫をしている。 ・バリアフリー化されている。	・入ってはいけな場所を分かりやすく、カギをかけて開かなくするなど、分かりやすさを重視する。 ・二階へ行くときには、階段を上る必要がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	0	2	・毎日の掃除をしっかりと行っている。 ・活動内容に合わせ、机を他の部屋に移動している。 ・整理整頓を心掛けている。	・清潔感がない訳ではないが、壁の補強(テープ等)は心地よくはない。 ・最近、使えない部屋が多くなってきた。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	2	1	・クールダウン時や個別での調理等で利用できている。 ・相談室をクールダウンの場所として使用している。	・床の補強を予定している。 ・現在、相談室の床が直っていないため使用できない。 ・現在、個別対応のための部屋に修繕が必要な状態である。	
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	0	2		・来たばかりのため見たことがない。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	0	2	・保護者の意見は参考にしている。 ・保護者様からの評価表や評価内容を確認し、業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	0	1	・きちんと意見を述べられる職員が多い。 ・疑問や意見を常に上司に伝えられる環境である。 ・打ち合わせを毎月行っている。 ・気になったこと等はすぐに質問して改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	2	4		・第三者の外部評価があるか知らない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0	0	1	・研修は全員で確認できるように貼り出し、自主的に参加することが多い。 ・定期的に研修の案内が来ている。 ・様々な研修を受ける機会がある。 ・事業外で行われる研修の案内は掲示し、全ての職員が研修に参加しやすいよう工夫している。 ・研修報告書を回覧してもらい、資質の向上に努めている。		
適切 な 支 援 の 提 供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	0	2	・個々に合ったプログラムを作成、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	0	2	・意識している。 ・以前より深く考えるようになったと思う。 ・日々の支援で気づいたことを職員間で共有し、ニーズを的確に捉えるよう努めている。 ・半年に一度、保護者の方と面談をして、課題や目標を決めている。 ・個々の発達、姿に合った計画を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	0	2	・会議での意見を大切にしている。 ・毎月モニタリング会議で意見を出し合っている。 ・支援計画会議が毎回行われている。 ・職員全体で意見を出し合っている。 ・職員間で検討し合っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	0	2	・支援がバラバラにならないように意識して、支援方法やポイントを伝えている。 ・個別の支援課題を行っている。 ・計画の変更や更新時には、放課後等デイサービス計画書を確認するよう全員に周知される。 ・職員全員共有されている。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域に沿った細かいアセスメントを行い、参考にしている。 ・日々の子供たちの様子や出来事を、その都度話し合ったり確認している。 ・日々の支援で気づいたことを職員間で共有し、ニーズを的確に捉えるよう努めている。 	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援は、進路に詳しいスタッフに相談する。 ・家族支援等踏まえた上で、支援決定している。 ・子供の希望に沿うよう、買い物や調理を支援に盛り込んだり、進学を控えている子供にバスや電車の乗り方、時刻表の見方を支援している。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・活動会議を設けている。 ・毎月の活動会議で話し合っている。 ・月1回の会議で決定している。 ・職員同士で意見を出し合っており考えている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・常滑(他事業所)で成功した活動や、子供に評判の良かった活動を取り入れる。 ・固定化が子供の成長につながると感じたときには、固定化している。 ・毎月できるだけ活動が重複しないように計画している。 ・色々な活動を考えている。 ・毎月季節に合った活動や、目的を持った活動内容になるよう工夫している。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・何を楽しくて来たのか、やろうと決めていることを見逃さない。 ・集団活動が難しいと予想される子供には、個別に活動を行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・13:30より打ち合わせを行っている。 ・怪我をしている、気持ち不安定等、子供の状況が事前に分かっている場合には、担当する職員を決めている。 ・支援開始前に当日のスケジュールの確認、連絡事項、役割分担等決めて支援できている。 ・打ち合わせを行い、参加できない場合には後から報告してもらい、連携を取っている。 ・必ず打ち合わせをし、活動内容等話し合い共有し合っている。 ・連携して支援を行っている。 ・支援開始前に、共有するべき利用者の情報共有や活動内容を確認している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	1	6	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいた点は報告し合っている。 ・必要があれば全体で共有する方法を考え、行う。 ・退勤時間の都合上、終了後には行えていないが、次の出勤時には共有等振り返りを行っている。 ・当日中に全員で振り返りを行うことは難しいため、記録に残したりしている。 ・支援終了後にパート職員は先に帰ってしまうので、その日のうちに全員そろっての打合せや振り返りはできないが、問題があったときには、次の日には共有できるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日に行えていないことがある。 ・支援後は、社員が送迎に出ているため話す時間がない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、実施記録を作成している。 ・当日中に記録をとっている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度程度行っている。 ・支援に携わる職員全員がモニタリングを行っている。 	
保護者係と機関連携	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	7	1	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流については機会を設けていないが、その他3つの項目については行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の機会をもっと増やしたい。 ・4つの基本活動を知らなかった。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定支援に重きを置いている。(特に中学生) ・毎日、何らかの機会を選択できる場を設けている。 ・やってみたいこと、頑張りたいたいことを取り入れている。 ・月に一度、子供たちで考え、決定した活動を行っている。(プール、カラオケ等) ・おやつを決めるとき、2種類用意して好きな方を選ぶようにして自己決定している。 	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	0	4		<ul style="list-style-type: none"> ・状況を理解し、参加するようにしたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の教諭等、送迎時に話したり情報交換できる状況はある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生とは多少連携する場合があるが、保護者を通じてになってしまっている。 ・必要があれば各機関と連携しているが、支援会議に出席できる職員の育成が必要と感じる。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いのないように重要視している。 ・学校と連絡を取り合っている。 ・調整等があったときは、必ず受付表に記入し、職員間で見返せるようにしている。 	

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	1	3	・資料を参考に程度ではある。 ・きちんと引継ぎして個別ファイルで見返せるようになっている。	・そのケースが今のところないが、今後必要なことも出てくるため、コンタクトを取ることも検討したい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	1	4		・今後、必要となる。 ・その場面になったことがない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	0	4	・親身に相談に乗ってくれる。	・入社間もないため分からない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5	1	2	・常滑(他事業所)との交流会。 ・イベント参加は1回あり。 ・地域の公園に出向くことが増え、ゆずり合って遊ぶを使うなどの交流はできた。 ・あおい常滑の子供たちと交流している。	・当事業所だけの問題ではないと感じる。 ・近隣の放デイ合同でスポーツや遊びのイベントができるとうい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	1	5		・入社間もないため分からない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	0	2	・送迎時や連絡帳(コドモン)で行っている。 ・送迎時に伝えるようにしている。 ・体調不良や、いつもと様子が異なるときは、速やかに連絡を取っている。また、子供の頑張りや優しさを感じる出来事があれば、具体的にお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	2	2	・案内している。	・私が入社してからの期間では行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	0	4	・事前に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	0	4	・特に心掛けている。 ・本人への聞き取りや、保護者へ電話や面談で意向を聞いている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	0	3	・だいふ慣れてきたと思う。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0	3	・だいふ慣れてきたと思う。 ・電話での相談支援や面談を行っている。 ・面談のほかにも、電話でも相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0	1	4	・毎年一度は開催している。 ・毎年、保護者や家族参加のスポーツイベントを行っている。 ・保護者の方に参加してもらえ活動や、年に数回行っている。	・希望も出ているため、できるだけ早く実現に向けて動きたい。 ・保護者同士が交流する機会は設けていない。 ・年に二回に増やせるよう努力したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	0	2	・相手の立場になって考える、こちらの都合を押し付けないう心掛けている。 ・保護者からの苦情は職員に共有している。 ・苦情があったときには迅速に対応していた。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	0	2	・コドモンや活動予定表などで発信している。 ・コドモンを積極的に活用して写真等を送っている。 ・毎月活動予定表を保護者の方に配布している。 ・コドモンで発信したり、活動等は毎月配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	0	2	・写真には注意している。 ・個人情報記載された印刷物やメモは、決められたルールで処分している。 ・持ち帰りはなく、事業所内で全て終わらせている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	0	2	・配慮することを心掛けている。 ・伝わりやすい言葉遣いを意識している。 ・ルビをふる、イラストを用いる等の工夫をしている。 ・それぞれの保護者に合った対応を行っている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	4	3	・要請を受け、高校生ボランティアを一週間受け入れた。	・できていない。 ・地域住民を招待する活動は行っていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	0	2	・避難訓練等行っている。	・ご家族の方に全てのマニュアルの周知はできていない。 ・現在、整えている。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	0	3	・再確認する機会があった。 ・毎月、避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	0	2	・サービス提供前の打ち合わせで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	0	2	・冷蔵庫に掲示し、誰でも分かりやすくしている。	・今のところ、覚えられる人数である。 ・アレルギーの把握はしているが、医師の指示書によるものなのか分からない。

非 常 時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	0	2		建物の補強は必要。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	0	2		・ 家族の周知がされているか分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	1	2	2		・ できていない。 ・ 現在、やるようにし始めている。 ・ 今後、ヒヤリハットに力を入れていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	0	2	・ 毎年行っているが、今年度はまだ行われていない。	・ 言葉遣い等も教育が必要。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか。	8	1	0	2	・ 常滑(他事業所)に対象者がいるため、相談に応じ、一緒に考えている。	・ あるはずだが、まだ把握できていない。